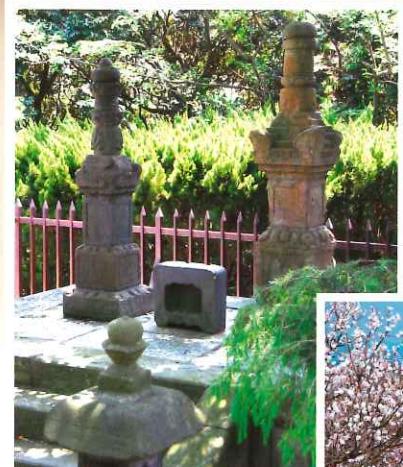


シティガイドが足で調べた

# 三浦半島 きまに 散歩 マップ付

## 京急田浦駅 ～安針塚駅～逸見駅



国指定史跡「三浦安針墓」

田浦梅の里



長浦港を中心に広がる明治時代からの旧海軍施設などの近代化遺産を巡る街歩きコースです。  
(約5km、約1時間40分)



桜の名所・県立塚山公園と田浦梅の里を横断し、東京湾、房総半島を一望することのできる旧浦賀みちをたどるハイキングコースです。  
(約6km、約2時間20分)

横須賀集客促進実行委員会（横須賀市、横須賀商工会議所、京急電鉄）



### 長浦港周辺の近代化遺産

「近代化遺産」は、先進的な技術や材料などを用いて造られ、日本の近代化に貢献した「産業・交通・土木」に関連する建造物や構造物のことです。普段、何気なく利用している駅や橋、トンネルも実は貴重な近代化遺産なのかもしれません。

長浦港周辺には、明治から戦後にかけて旧海軍工廠造兵部や水雷学校などが置かれ、今なお多くの構造物が残されています。



旧海軍工廠造兵部配置図（昭和20年当時）

### ① 旧海軍工廠造兵部

船越町の東芝ライテック横須賀工場周辺は、明治19年(1886)から昭和20年(1945)まで旧海軍工廠造兵部が置かれ、昭和10年代には3万人を超える職工が働いていました。

現在の工場の敷地内には、明治19年に造られたれんが造りの旧鍛錬工場事務所をはじめ、大正2年(1913)に竣工し、関東大震災でも崩壊しなかつた旧造兵部本館、機銃工場(1934)、発電工場(1929)など、旧海軍の建造物が数多く残され、現在も利用されています。

敷地内に入ることはできませんが、道沿いから見ることができます。



工場の壁に沿って、長浦港への道を進むと、旧機械工場などの建物が見えます。

### 旧海軍軍需部長浦倉庫

旧海軍軍需部は、砲弾、魚雷などの兵器から軍艦で使う燃料、食料、被服までの一切の軍需物資を集め保管し、軍艦などに補給する役目を担っていたところです。長浦港の岸壁に沿った倉庫群は、旧海軍軍需部の長浦倉庫といわれ、主に兵器庫があつたところです。現在でも、当時の建物が海上自衛隊や民間会社によって利用されています。





### ③JR田浦駅周辺

JR田浦駅は、明治37年（1904）に開設されています。駅はトンネルに挟まれ、現在の11両編成の電車ではホームに止まりきれないため、ドアが開かない車両があるという全国でも珍しい駅です。駅の周辺には、旧海軍軍需部への引き込み線や、明治22年（1889）に大船一横須賀間が開通した当時のトンネルなどが残されています。



#### 七釜トンネル

JR田浦駅の横須賀駅側に、明治・大正・昭和に造られた三つのトンネルが並んでいます。中央のトンネル（下り線）は、明治22年（1889）の横須賀線開通時に完成した最も古いトンネルです。上り線の美しいれんが造りのトンネルは、複線化に伴い大正13年（1924）に増設されました。一番大きいトンネルは、昭和18年（1943）軍需輸送の引き込み線用として造られたものです。駅の高架から三つのトンネルを見ることができます。

駅周辺は、昔は鎌を失うほど草が繁茂していたため「失鎌（しっかま）」と呼ばれていましたが、蒸気機関車の「釜を失う」に繋がることから、同じ発音の「七釜」に文字を変えてトンネルの名前にしたと言われています。

#### 引き込み線

JR田浦駅から延びる引き込み線は、旧海軍軍需部倉庫用地から港までを網の目のように覆っていました。昭和50年代までは、長浦港で荷揚げされた貨物を積む列車が走っていましたが、その後は、一部米軍が使用する部分を除き廃線となりました。現在は、倉庫群を抜ける道沿いに、その一部が残っています。

比与宇トンネルからJR田浦駅に向かう道路沿いには、駅から米軍の箱崎燃料基地に向かう線路と、比与宇トンネルでスイッチバックした線路が十字に交差する珍しいポイントがあります。



### ④比与宇トンネル

比与宇トンネルは終戦まで軍事用引き込み線のトンネルでした。当時、JR田浦駅から長浦港倉庫街東側に向かう貨物車は、一度トンネル内に進入しスイッチバックして方向転換したため、2方向から引き込み線がトンネル内につながっていました。

周辺には旧海軍軍需部の弾薬庫関連施設があり、列車からの弾薬の積み降ろしは、このトンネル内で行われていました。このため、線路と車道が並ぶ珍しいトンネルでしたが、現在はトンネル内外ともに線路は撤去されています。



### 浄土寺

三浦按針の菩提寺 浄土寺は鎌倉時代の武将 島山重忠創建のお寺です。浄土寺には、三浦按針より寄贈された銅製の念持仏観音像や南蛮貿易の際の土産の絵文、日本橋按針町からの寄進の打ち敷など按針ゆかりの品々を所蔵しており、春の按針忌法要に観音像がご開帳されます。



### 横須賀梅酒 田浦梅の里の梅使用

田浦梅の里のウメの実を使用したワインが発売されたのは平成7年のことであり、横須賀土産として定着しています。

これに加え、平成21年8月新たに「横須賀梅酒」が発売されました。田浦梅の里で収穫されたウメの実を使用し、香料を一切使わない、ウメ本来の香りと風味をお楽しみいただけます。

価格：1,080円（税込）

横須賀酒販協同組合（☎ 046-823-1336）加盟の酒屋でお求めください。



### 横浜ベイスターズ 総合練習場

プロ野球横浜ベイスターズの総合練習場は無料で見学ができる、練習をしている選手を間近で見ることができます。

ここは昭和2年（1927）に旧海軍軍需部本部が置かれ、湘南電車軍需部前駅（現在の京急線安針塚駅）から多くの人の行き来がありました。戦後は、昭和60年（1985）まで遠洋捕鯨基地として利用され、この練習場の敷地も、遠洋捕鯨の大洋漁業（現マルハ（株））の工場でした。



横須賀の観光、遊び情報は「ここヨコ」で！



横須賀観光情報

ここはヨコスカ



横須賀の観光スポット、イベント情報を紹介するホームページです。  
今が旬のイベント情報や、横須賀でしか味わえないグルメ情報など  
ミニマムより情報が満載！ 横須賀に行くなら「ここヨコ」をチェック！



<http://www.cocoyoko.net/>

ここヨコ

検索



■お問い合わせ 横須賀市コールセンター

☎ 046-822-2500 〈年中無休8:00～20:00〉

横須賀集客促進実行委員会（横須賀市 横須賀工会議所 京急電鉄）

事務局 横須賀市経済部観光企画課 ☎ 046-822-8124

平成29年4月発行



## ①県立塚山公園

塚山公園は、「かながわの景勝50選」にも選ばれおり「見晴台」「港の見える丘」からは、遠くは房総半島や横浜の眼下には横須賀港、猿島などが見渡せます。

春先は桜の名所として親しまれ、毎年3月下旬から4月上旬に「塚山公園さくら祭」が開催され多くの人でにぎわいます。

園内には、国指定史跡の三浦按針夫妻の供養塔があります。按針は、英國人で本名はウイリアム・アダムといい、徳川家康の信任を得て、この地三浦郡逸見村に250石の領地を与えられ、外交顧問として仕えたほか、砲術・造船術・航海術などの西洋文明を伝えました。妻は江戸日本橋大伝馬町の名主の娘です。按針は元和6年(1620)長崎県平戸で亡くなりましたが、毎年4月上旬に三浦按針祭観桜会が催されます。



## ②十三峠

享保5年(1720)に江戸湾防備のため浦賀に奉行所ができ、江戸ー浦賀間の往来が盛んになったことから、保土ヶ谷、平塚から三浦半島の浦賀に至る東西の2本の道が作されました。保土ヶ谷からのルートは「東の浦賀みち」と呼ばれ東京湾沿いの経路で浦賀に至っていました。

ここ十三峠は東の浦賀みちを往来する旅人や村人たちにとって非常につらい山道で、浦賀みち最大の難所であったと言われています。十三峠の名の由来には、保土ヶ谷より13番目の峠ということで名付けられたという説や、峠に祭られた十三仏にちなむという説などがあります。



## ④田浦梅の里

昭和9年(1934)に今上天皇のご誕生日を記念して、地元の有志が700本の梅を植えたのが「田浦梅の里」の始まりです。約2,000本の梅が2月上旬から3月中旬にかけて見ごろを迎えます。さらに2月上旬から3月下旬にかけては75,000株のスイセンの花も楽しむことができます。

梅の里内にはキャンプ場、芝生広場などもあり、のんびりと自然を楽しめます。展望台からの眺望は素晴らしい、正面には東京湾が広がり、横浜のランドマークタワーや東京湾アクアラインの海ほたる、房総半島を見渡すことができます。